

ラウンドテーブルⅠ 6月27日(日) 16:30-18:30 文系総合館311・312室

イスラームと教育の質 ーバングラデシュ、マレーシア、インドネシアー

企画者 日下部 達也 (日本学術振興会特別研究員)

司会者 鴨川 明子 (早稲田大学)

提案者 日下部 達也 (日本学術振興会特別研究員)

鴨川 明子 (早稲田大学)

中田 有紀 (名古屋大学大学院)

企画趣旨

本企画では、東南・南アジアのイスラームと教育の質の問題をテーマとする。初等教育の受容と発展 (バングラデシュ)、高校生の進学意識とジェンダー (マレーシア)、クルアーン幼児教室の展開 (インドネシア) についての事例をもとに、イスラームと教育の質がどのように関わっているのかについて様々な角度から議論がなされることを期待する。

アフリカの開発と教育 ―日本の貢献―

企画者 澤村 信英 (広島大学)

司会者 黒田 一雄 (早稲田大学)

提案者 小野 由美子 (鳴門教育大学)

黒田 則博 (広島大学)

浜野 隆 (広島大学)

企画趣旨

アフリカ諸国の教育と国際協力を取り巻く環境はめまぐるしく変化している。日本では2003年に第3回アフリカ開発会議が開催され、アフリカに対する教育協力は、重点領域となっている。ここでは、ガーナ・ケニア・タンザニア・南アフリカ等での日本の協力を事例として、それらの目標、成果、問題点等について、比較検討し、意見交換を行う。